

シーズ技術名

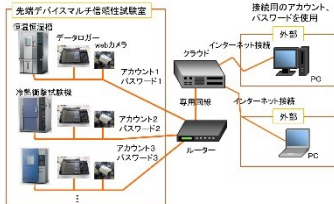
## 環境試験の遠隔常時モニタリングで生産性アップ

遠隔常時モニタリングによる環境試験の効率化技術

技術分野分類 1103：情報ネットワーク

技術キーワード 環境強度、信頼性設計、ネットワーク・LAN

産業分類 E-28：電子部品・デバイス・電子回路製造業

内 容	概 要	富山県産業技術研究開発センターに整備された試験機器集中管理システムを用いて、遠隔で製品の健全性評価を行えるようにすることで、環境試験を効率化することができます。																		
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来は、一定期間環境試験を実施した後に、製品を評価する必要があり、環境試験の途中で製品が故障した場合、無駄に環境試験を実施することになり非効率でした。本技術で、遠隔常時モニタリングすることで、一定の条件下で無駄な環境試験を 76.8%削減できました。																		
	本技術の 有用性	製品の信頼性確保のために、環境試験が広く行われていますが、本技術を用いることで、環境試験を大幅に効率化することができ、新製品の開発スピードや生産性を向上させ、製品の付加価値を高めることができます。																		
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>遠隔モニタリングシステム</p> <p>接続用のアカウント、パスワードを使用</p> <p>クラウド インターネット接続 外部 PC</p> <p>専用電話 インターネット接続 外部 PC</p> <p>ルーター</p> <p>先着デバイスマルチ環境試験室 環境測定機 データロガー Webカメラ アカウント1 パスワード1 専用電話 アカウント2 パスワード2 アカウント3 パスワード3</p> <p>平均残サイクル数 = <math>\frac{\sum_{i=1}^N (N-i)}{N}</math> N:計測間隔(サイクル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>C計測間隔[サイクル]</th><th>平均残サイクル数</th><th>削減率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td><td>49.5</td><td>76.8%</td></tr> <tr> <td>200</td><td>99.5</td><td>88.4%</td></tr> <tr> <td>300</td><td>149.5</td><td>92.3%</td></tr> <tr> <td>400</td><td>199.5</td><td>94.2%</td></tr> <tr> <td>500</td><td>249.5</td><td>95.4%</td></tr> </tbody> </table> <p>無駄な試験の削減率</p>	C計測間隔[サイクル]	平均残サイクル数	削減率	100	49.5	76.8%	200	99.5	88.4%	300	149.5	92.3%	400	199.5	94.2%	500	249.5	95.4%
C計測間隔[サイクル]	平均残サイクル数	削減率																		
100	49.5	76.8%																		
200	99.5	88.4%																		
300	149.5	92.3%																		
400	199.5	94.2%																		
500	249.5	95.4%																		
適用可能製品		おおよそあらゆる製品に適用することができる。特に、電子機器、電子部品、自動車部品への応用が期待できる。																		
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	釣谷 浩之（つりたに ひろゆき） 富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所 機械情報システム課 副主幹研究員																		
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	富山県産業技術研究開発センター 企画管理部 企画調整課 0766-21-2121/0766-21-2402 kikaku2@itc.pref.toyama.jp																		

## ■知的財産

## ■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2022 年 11 月 22 日